豊府校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

豊府校区社会福祉協議会・大分市社会福祉協議会

ごあいさつ

大分市において、令和元年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第４期大分市地域福祉計画・第５次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ豊府校区においては、「明るく心豊かなまち豊府　思いやりと助け合いのまち豊府」を目指し、自治会や民生委員児童委員を中心に地域住民と協力して小地域福祉ネットワーク活動をはじめとしたさまざまな地域福祉活動を展開してきました。

近年、我が国においては、超高齢社会、人口減少社会、単身世帯の増加などさまざまな社会要因により、地域内での孤立や、生活上の支援を要する人がますます増加することが懸念されており、豊府校区においても「困ったときに頼る人がいない」という声を聞くようになりました。

そのような状況の中、国が提唱した「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現では、それら諸課題を乗り越えていくためには、公的なサービスだけではなく、地域福祉活動の重要性が改めて示されています。

こうした状況を踏まえて、豊府校区で既に地域福祉活動を実践している方々の意見をいただきながら、身近な関係の中で助け合える地域づくりを進めるために「日常生活上のちょっとした困りごとを支援する仕組づくり」「既存の「ふれあい活動」を活用した話し合いの場の充実」の２つを基本目標に、豊府校区の地域福祉活動計画づくりの取り組みを進めてまいりました。

今後は、さらに議論を進め、豊かな豊府校区のまちづくりを目指した「豊府校区地域福祉活動計画」が策定され、組織、団体が力を合わせて、計画の取り組みが進められますよう、皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

豊府校区社会福祉協議会
会長　　高屋　亨

目　次

第１章　はじめに 1

（1）計画策定の背景 1
（2）大分市社会福祉協議会とは 1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは 1

第2章　豊府校区について 2

（1）豊府校区の概要 2
（2）校（地）区社会福祉協議会について 2
（3）人口推移 2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状 3
（5）高齢者サロンについて 5
（6）老人会について 6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査 7

基本目標1：「地域のつながりをつくる」に関する設問 8
基本目標2：「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問 10
基本目標3：「困りごとを深刻化させない」に関する設問 12
基本目標4：「安心・安全をつくる」に関する設問 15

第4章　豊府校区の活動計画と策定までのプロセス 16

（1）目標と具体的取り組み 16
（2）計画策定メンバー 18
（3）実施経過 18

第5章　資料編 19

（1）他の活動紹介 19
（2）実態調査票 24
（3）実態調査集計結果 27

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

豊府校区は、大分市中央部の南に位置し、国道２１０号線羽屋バイパス、上野の山々、大分川に囲まれるように広がっています。大分市の中央部にあるにもかかわらず、石仏やお寺などがたくさんあり新しさの中に歴史を感じさせる地域です。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「豊府校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・豊府校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という 2 つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

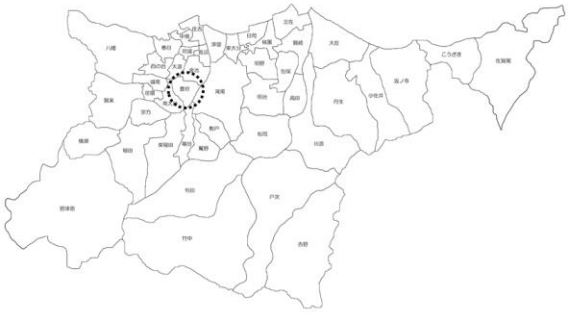
小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　豊府校区について

（1）豊府校区の概要

◇豊府校区は、大分市中央部の南に位置し、国道２１０号線羽屋バイパス、上野の山々と大分川に囲まれるように広がっています。大分市の中央部にあるにもかかわらず、石仏やお寺などがたくさんあり新しさの中に歴史を感じさせる地域です。

◇8 の自治会区と 22 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

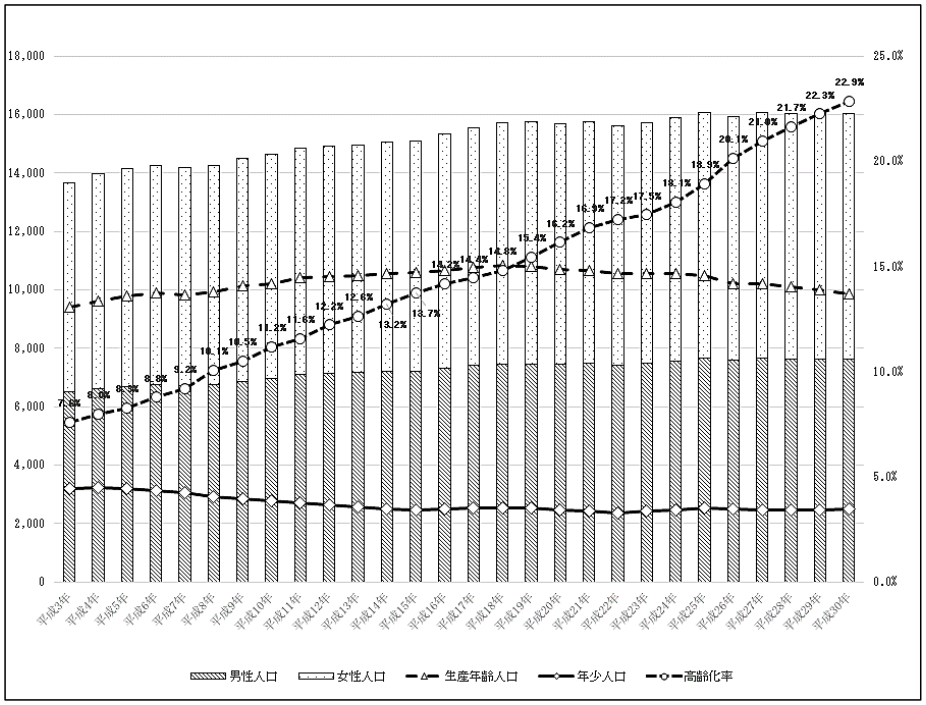


（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇昭和 62 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　403 人

②ふれあい協力者　　308 人

③協力者のいない対象者　　146 人

④緊急連絡先のない対象者　12 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　　1 人

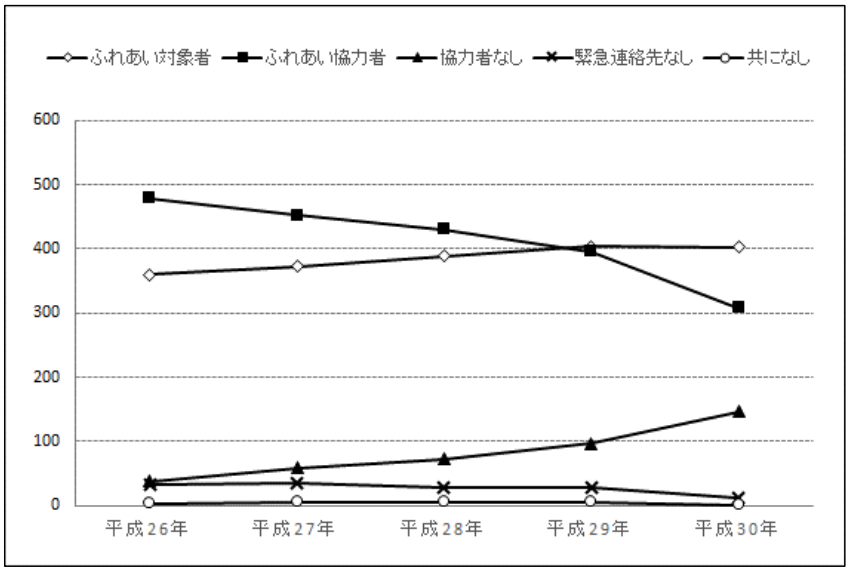
（平成 30 年 4 月 1 日現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	広瀬町	6	7	0	0	0	1	広瀬町（1、2組）	6	7	0	0	0
2	花園	70	72	14	6	0	2	花園（11組-1～3、12組、13組、18組、19組）	28	29	5	1	0
							3	花園（11組4～9、14組、17組）	31	28	8	1	0
							4	花園（15、16組）	11	17	1	4	0
3	古国府	85	42	48	1	1	5	古国府（1、2、3組）	29	15	13	1	1
							6	古国府（3組-4、4～5組、10組）	14	4	11	0	0
							7	古国府6組	9	7	3	0	0
							8	古国府（7、8組、9組-1）	33	16	21	0	0
4	古国府東	29	32	1	1	0	9	古国府東（9組-2～5）	29	32	1	1	0
5	南太平寺	75	51	25	1	0	10	南太平寺1組	12	7	6	1	0
							11	南太平寺（4～6、17、18、21、24組）	18	12	7	0	0
							12	南太平寺（2、3、19、20、22、23組）	20	16	4	0	0
							13	南太平寺（7～16組、25組）	25	16	8	0	0
6	上田町	58	52	23	3	0	14	上田町（2組-1、3組、4組-2、4組-3、市営住宅1A-2、2A-2）	13	11	3	0	0
							15	上田町（1組-1～2、4組-1、5組、8組-2、9組）	12	13	4	2	0
							16	上田町（2、6、7組、市営1A-1、2A-1）	16	19	5	1	0
							17	上田町（8組1、3、10～12組）	17	9	11	0	0
7	羽屋	67	47	26	0	0	18	羽屋（1～3組、13組）	18	9	7	0	0
							19	羽屋（4～6組）	18	11	8	0	0
							20	羽屋（7～9組）	22	23	6	0	0
							21	羽屋（10～12組、14組）	9	4	5	0	0
8	羽屋新町	13	7	9	0	0	22	羽屋新町（１～12組）	13	7	9	0	0

豊府地区のふれあい対象者推移

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

豊府校区	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
ふれあい対象者	360	373	389	404	403
ふれあい協力者	479	452	431	396	308
協力者なし	38	59	73	97	146
緊急連絡先なし	33	34	29	28	12
共になし	3	6	5	6	1



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

（5）高齢者サロンについて

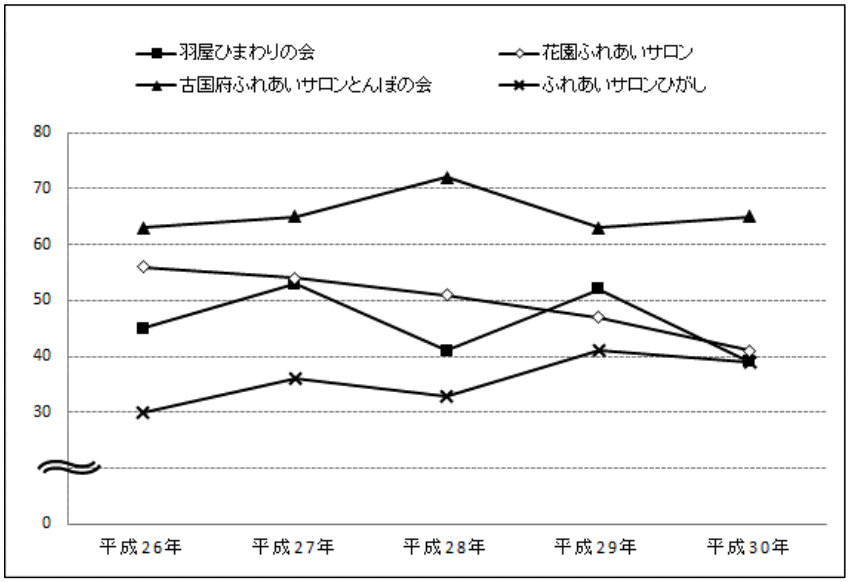
豊府校区内にある高齢者サロンは 4 ヶ所です。

（平成 30 年 1 月末現在）

サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
羽屋ひまわりの会	羽屋公民館	12	39	H13.7.1
花園ふれあいサロン	花園公民館	24	41	H13.7.1
古国府ふれあいサロンとんぼの会	古国府公民館	12	65	H15.5.14
ふれあいサロンひがし	古国府東公民館	24	39	H18.5.19

豊府校区での高齢者サロン参加者の推移

サロン名	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
羽屋ひまわりの会	45	53	41	52	39
花園ふれあいサロン	56	54	51	47	41
古国府ふれあいサロンとんぼの会	63	65	72	63	65
ふれあいサロンひがし	30	36	33	41	39



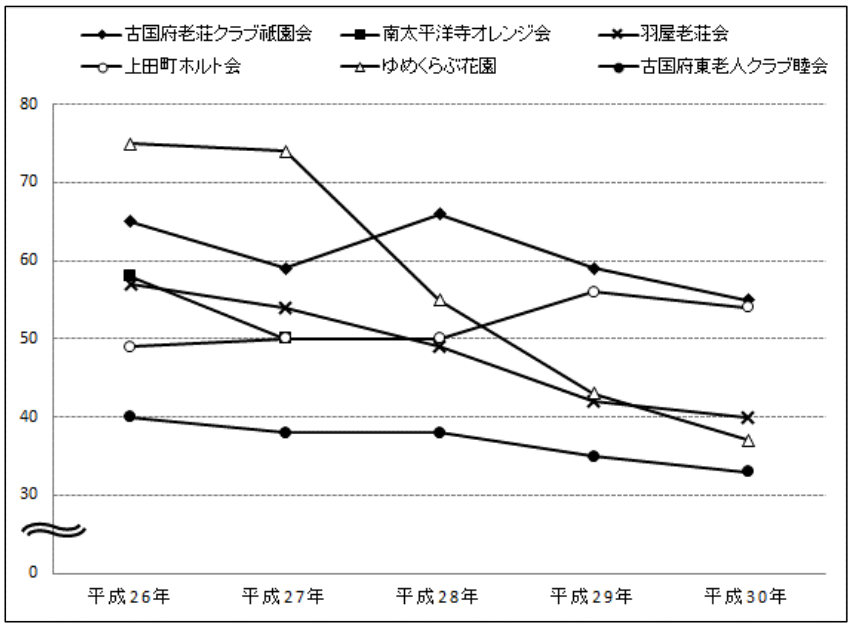
(6)老人会について

豊府校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは 5 ヶ所あります。

（平成 30 年度）

老人クラブの参加者推移

	老人クラブ名	自治会	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
1	古国府老荘クラブ祇園会	古国府	65	59	66	59	55
2	南太平洋寺オレンジ会	南太平寺	58	50	－	－	－
3	羽屋老荘会	羽屋	57	54	49	42	40
4	上田町ホルト会	上田町	49	50	50	56	54
5	ゆめくらぶ花園 （花園老人会H29） （花園すこやか会H30）	花園	75	74	55	43	37
6	古国府東老人クラブ睦会	古国府東	40	38	38	35	33



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、豊府校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 30 年 7 月中旬～平成 30 年 8 月末
対　象	豊府校区内のふれあい対象者　404 名 （平成 30 年 7 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	358 名
回答率	89%
調査協力者	豊府校区民生委員の方々

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

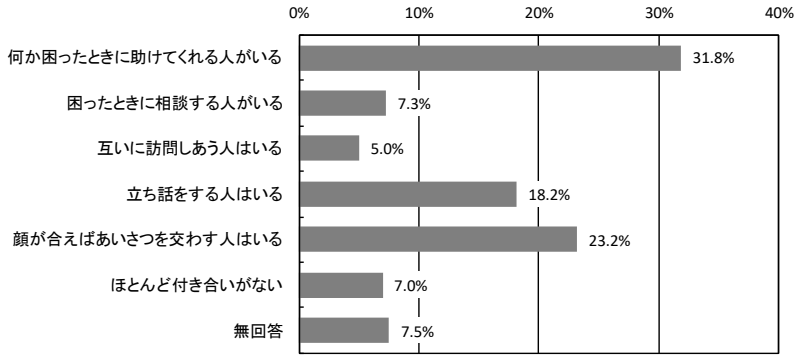
近所づきあいの程度・考え方(問 15・16)

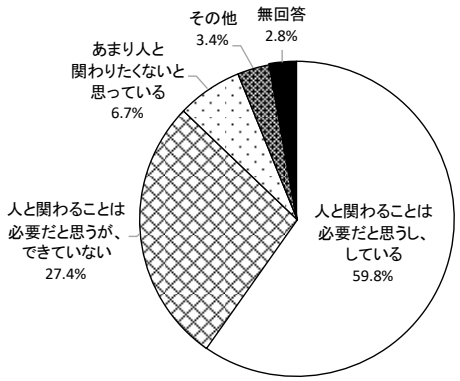
近所づきあいの程度については、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 31.8%と最も高く、次いで、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 23.2%、「立ち話をする人はいる」が 18.2%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」が 7.0%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 59.8%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 27.4%となっている。

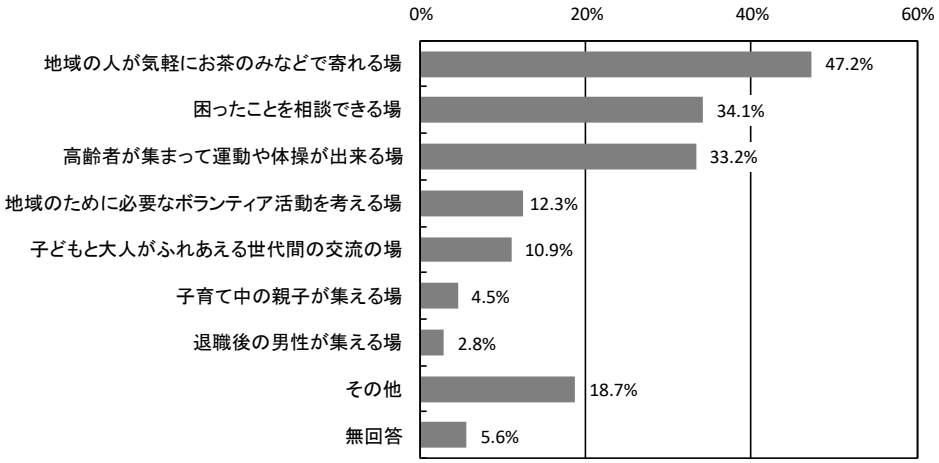
なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 6.7%となっている。





必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 17）

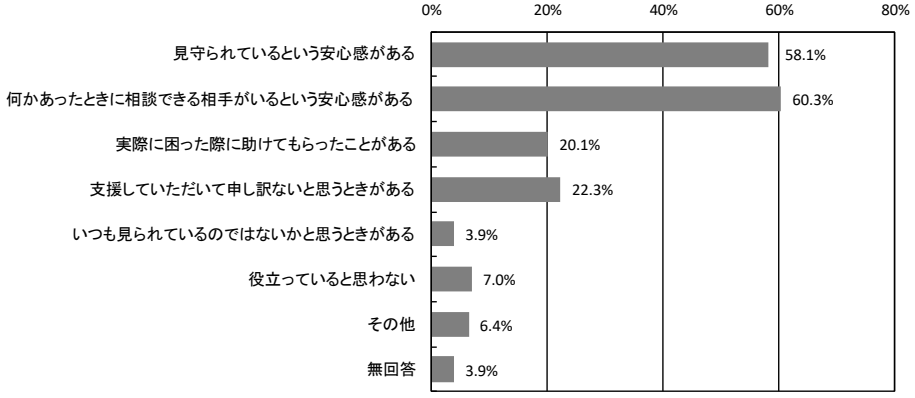
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 47.2%で最も高くなっている。また、「困ったことを相談できる場」が 34.1%、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 33.2%、「地域のために必要なボランティア活動を考える場」が 12.3%となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

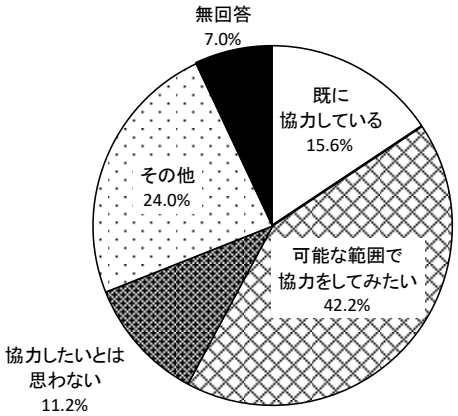
「ふれあい活動」で感じること(問 19)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 60.3%で最も高く、次いで「見守られているという安心感がある」が 58.1%となっている。



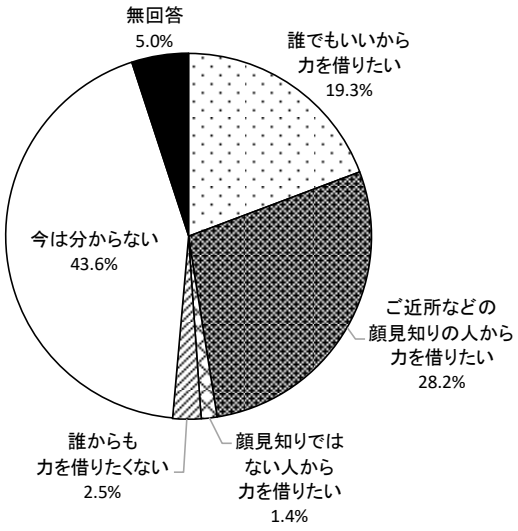
地域の行事や活動に協力しみたいと思うか(問 20)

地域の行事や活動に協力してみたいと思うかについては、「既に協力している」が 15.6%、「可能な範囲で協力をしてみたい」が 42.2%、「協力したいとは思わない」が 11.2%、「その他」が 24.0%となっている。



日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 10）

日常生活のお手伝いに力を借りたいかについては、「誰でもいいから力を借りたい」と答える方よりも、「ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の方が多い傾向にある。



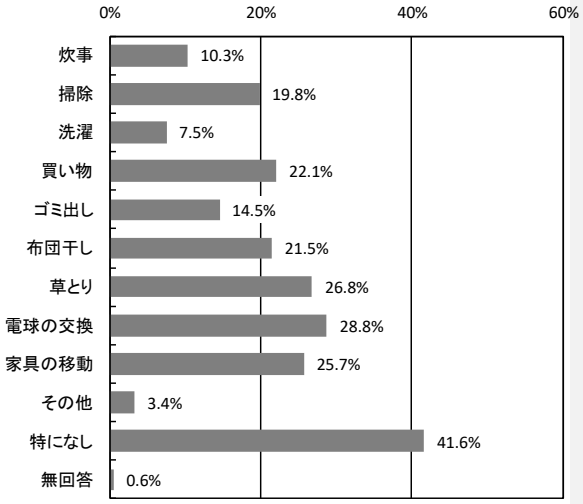
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 7)

日常の困りごとについては、「特になし」が 41.6%で最も高く、次いで「電球の交換」28.8%、「草とり」26.8%、「家具の移動」25.7%となっている。

(N=358)

	回答数	割合
炊事	37	10.3%
掃除	71	19.8%
洗濯	27	7.5%
買い物	79	22.1%
ゴミ出し	52	14.5%
布団干し	77	21.5%
草とり	96	26.8%
電球の交換	103	28.8%
家具の移動	92	25.7%
その他	12	3.4%
特になし	149	41.6%
無回答	2	0.6%

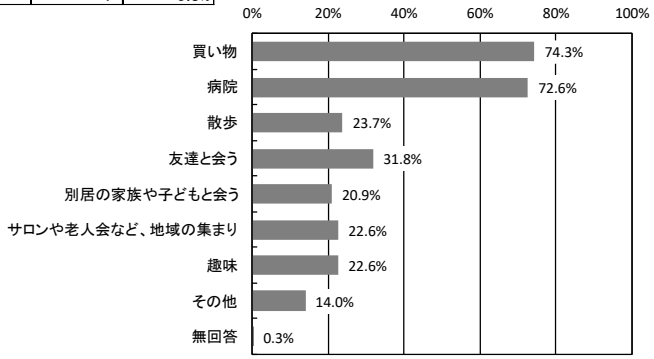


外出の理由(問 11)

外出の理由については、「買い物」が 74.3%となっており最も高く、次いで「病院」72.6%、「友達と会う」31.8%、「散歩」23.7%となっている。

(N=358)

	回答数	割合
買い物	266	74.3%
病院	260	72.6%
散歩	85	23.7%
友達と会う	114	31.8%
別居の家族や子どもと会う	75	20.9%
サロンや老人会など、地域の集まり	81	22.6%
趣味	81	22.6%
その他	50	14.0%
無回答	1	0.3%

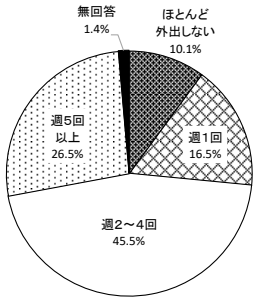


外出の頻度（問 12）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 45.5%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 26.5%と高く、「週 1 回」は 16.5%、「ほとんど外出しない」は 10.1%となっている。

（N=358）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	36	10.1%
週1回	59	16.5%
週2～4回	163	45.5%
週5回以上	95	26.5%
無回答	5	1.4%



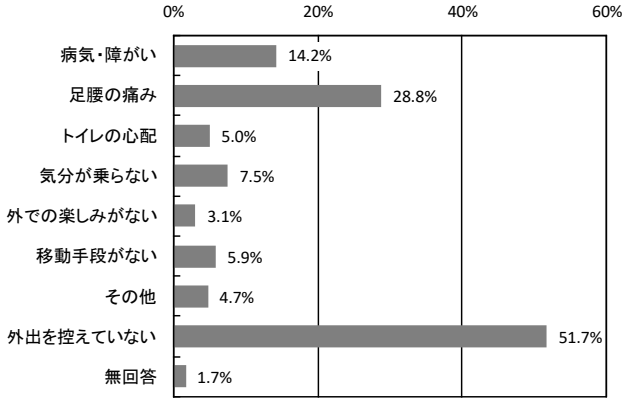
外出を控える理由（問 13）

外出を控える理由では、「足腰の痛み」28.8%が高い割合となっている。ついで、「病気・障がい」は 14.2%、「気分が乗らない」は 7.5%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 51.7%となっている。

（N=358）

	回答数	割合
病気・障がい	51	14.2%
足腰の痛み	103	28.8%
トイレの心配	18	5.0%
気分が乗らない	27	7.5%
外での楽しみがない	11	3.1%
移動手段がない	21	5.9%
その他	17	4.7%
外出を控えていない	185	51.7%
無回答	6	1.7%



コメントの追加 [u1]:「無回答」以外の結果を順位の高い順に述べる

コメントの追加 [u2]:「外出を控えていない」「その他」「無回答」以外で順位の高かったものを順に3つ述べる

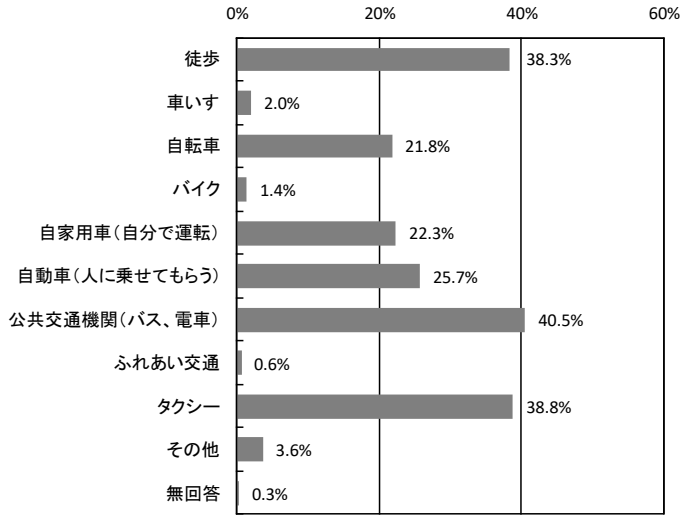
主な外出の手段（問 14）

主な外出の手段については、「公共交通機関（バス、電車）」が 40.5%で最も高く、次いで「タクシー」38.8%、「徒歩」38.3%、「自家用車（人に乗せてもらう）」25.7%の順となっている。

コメントの追加 [u3]:「無回答」以外で順位の高かったものを順に4つ述べる

（N=358）

	回答数	割合
徒歩	137	38.3%
車いす	7	2.0%
自転車	78	21.8%
バイク	5	1.4%
自家用車（自分で運転）	80	22.3%
自動車（人に乗せてもらう）	92	25.7%
公共交通機関（バス、電車）	145	40.5%
ふれあい交通	2	0.6%
タクシー	139	38.8%
その他	13	3.6%
無回答	1	0.3%

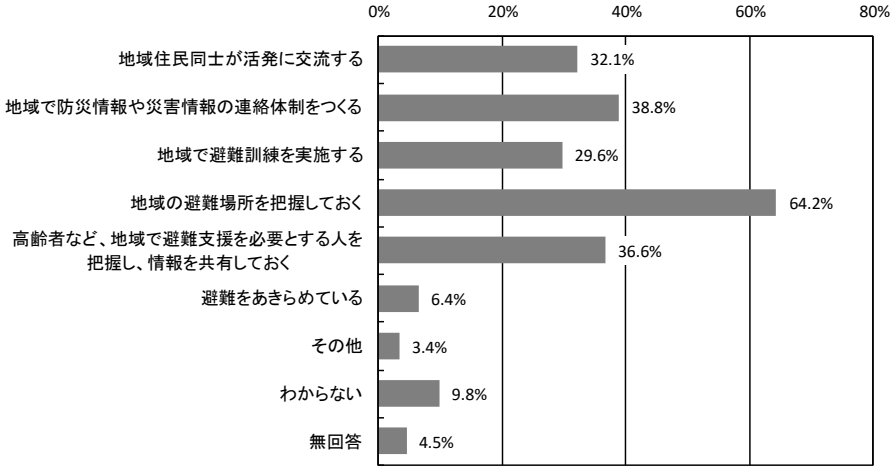


基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 18)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 64.2%で最も高く、次いで「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」38.8%、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」36.6%、「地域住民同士が活発に交流する」32.1%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 6.4%、「わからない」は 9.8%となっている。



第4章　豊府校区の活動計画と策定までのプロセス

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

豊府校区社協の目標１

日常生活上の「ちょっとした困りごと」を支援する仕組みづくりをしよう！

実態調査から、電球の交換や草とりなど、日常生活上の困りごとを抱えている人が一定数いることがわかりました。一方で、近所に家族がいなかったり、近所付き合いが無かったりして、相談できる人がおらず困っている人もいるようです。

そこで、近所に頼れる人がいない人でも、年を取ってからも安心して末永く生活できるような地域を目指し、「ちょっとした困りごと」を支援する仕組として、「サポート豊府」の立ち上げに取り組みます。

活動の方向性（具体的取り組み）

●先進地視察等、他地域の実践についての勉強会の実施。
●住民の困りごとの把握方法の検討。
●「困りごと」と支援者（ボランティア）をつなぐ仕組づくり。
●支援者（ボランティア）の募集及び組織化

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

・近所のゴミ捨て場までのゴミ捨てや電球の交換など年をとっての生活は不自由なことが多くなってくる。
・町内会で規模が違うので、町内会毎に助け合いの仕組を作ると格差が生じてしまう。
・近所付き合いをしていない人は、ふれあい協力者や困ったときのお手伝いなどを頼める人がいないことが多い。
・助け合いの仕組を作るにあたって、支援する側がなかなか集まらないので、どのように集めるかが大事。

～提案・対応策～

・元気なうちは他の人のお世話をして、年をとって自分で出来なくなった時に安心してお世話になれる仕組みを作っていく必要があるのではないか。
・既存の市の事業や他校区の先進事例を勉強して、豊府校区に合った助け合いの仕組を作ったほうが良いのではないか。
・チラシなどを作成し、特技や出来ることを募集すれば良いのではないか。
・自治会長が地域の人材に詳しい。自治会長を通じて協力者を探すと良いのではないか。
・既存のボランティア団体である「豊府ボランティア」は、「みんなで協力して活動する」を大事にしているので、助け合いの支援者は、別組織として募集した方が良い。
・作業は２名体制で行うなど、困りごとの相談者とボランティアの間でのトラブルを避けるための活動体制の検討が必要。

豊府校区社協の目標２

既存の「ふれあい活動」を活用した話し合いの場の充実に取り組みます！

豊府校区には、自治会長や民生委員をはじめとする、多くの地域福祉活動実践者が活動をしています。しかし、一方で、活動団体会員だけでなくふれあい協力者自身の「ふれあい活動」についての理解にも温度差があることが、課題として挙がりました。

そこで、地域内における「ふれあい活動」の理解を深め、困りごとを支援に繋げるために、地域で既に取り組んでいる「ふれあい活動」を活用し、話し合いの場を充実させます。

活動の方向性（具体的取り組み）

●校区単位での話し合いの場（自治会長、民生・児童委員合同研修会）の充実。
●町内会ごとの「話し合いの場」における「ふれあい活動」等の PR 方法の検討。

策定までのプロセス

≪「話し合い」の場で出た意見≫

～現状・課題～

- 地域には色々な立場の人がおり、ふれあい活動に対して必要性を理解していない人も多い。
- 校区社協構成団体のメンバーには「ふれあい活動」自体を知らない人も多い。
- ふれあい活動の取り組みには、自治会の理解と協力が重要であり、校区社協構成団体の連携が大事である。
- 助け合いの仕組を作るにあたり、活動の必要性を地域の皆さんにご理解頂きながら進めないと、住民には、「自分は元気だから関係ない」と考える人が多く、協力を得られにくいのではないか。

～提案・対応策～

- 老人会やボランティアの会員に一人暮らしの人にも声かけをお願いしたら、民生委員の見守り活動の負担も減るのでは無いか。
- 町内全体に情報を広げるためには、広報手段を持っている自治会長の協力が必要。
- ふれあい協力者、ふれあい対象者両者に過度な負担をかけないように、「ふれあい協力者」の役割を知ってもらう必要があるのではないか。
- ふれあい対象者本人や家族の意識付けが必要。

（2）計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	豊府校区社会福祉協議会	会長（羽屋自治委員）	高屋　亨
2	豊府校区社会福祉協議会	事務局長（上田町民生委員）	那賀　賢
3	豊府校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	馬場　和子
4	豊府校区まちづくり協議会	会長（古国府東自治委員）	波津久　勝利
5	豊府校区民生委員児童委員協議会	会長（古国府民生委員）	小野　洋一
6	豊府校区民生委員児童委員協議会	上田町民生委員	重住　節子
7	豊府校区民生委員児童委員協議会	花園民生委員	永松　松實
8	ボランティア豊府	会長（古国府東民生委員）	長岡　敏子
9	豊府校区老人クラブ連合会	副会長（上田町ホルト会会長）	衛藤　嘉幸
10	豊府校区青少年健全育成協議会	事務局長	辻　　恵理

（3）実施経過

開催日	内容
5月２１日（月）19:00～	豊府校区社会福祉協議会総会
6月1日（金）～6月３０日（土）	調査対象者整備活動
7月１７日（火）10：00	実態調査活動説明会
7月２８日（水）～ 9月２８日（金）	調査実施期間
１２月　5日（水）13：00～	豊府校区社協事務局会議
１２月　8日（土）9：00～	実態調査結果報告（豊府校区民児協定例会）
1月２３日（火）13：00～	豊府校区社協事務局協議
1月３１日（木）10：00～	第１回話し合い（実態調査報告等）
2月２２日（金）9：30～	豊府校区社協事務局協議
2月２６日（火）14：30～	第２回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
7月　5日（金）13：00～	豊府校区社協事務局協議
7月２７日（土）10：00～	第３回話し合い（地域課題の把握、課題出し等）
8月２０日（火）14：30～	豊府校区社協事務局協議
8月２６日（月）10：00～	第４回話し合い（活動目標案の策定、最終まとめ）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、豊府校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう
お願い致します。

第5章　資料編

(1)他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送 / 無償運送(もやい号) / 合計 収入：2,002千円 / 278千円 / 2,280千円 支出：3,600千円 / 799千円 / 4,399千円 差引：−1,598千円 / −521千円 / −4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

（2）実態調査票

あなたご自身についておうかがいします。

【問１】あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

【問２】あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳
５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

【問３】居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家
３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅
６）その他（　　）

【問４】家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居
５）その他（　　）

【問５】今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満
４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

【問６】あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない
４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態
６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

【問７】日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）炊事　　２）掃除　　３）洗濯　　４）買い物　　５）ゴミ出し
６）布団干し　　７）草とり　　８）電球の交換　　９）家具の移動
10）その他（　　）
11）特になし

コメントの追加 [u4]:【意見】
“草刈り”より“草とり”に苦労している人が多い

【問８】その他に、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）医療や介護のこと　　２）経済的なこと　　３）地域の人とのつきあい
４）その他（　　）　　５）困っていることはない

【問９】困った時に相談する相手はいますか。（○はいくつでも）

１）家族・親族　　２）友人・知人　　３）自治会長　　４）民生委員
５）ふれあい協力者　　６）専門家（医師、地域包括支援センターなど）
７）その他（　　）　　８）相談できる人はいない

【問１０】困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

１）誰でもいいから力を借りたい
２）ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい
３）顔見知りではない人から力を借りたい
４）誰からも力を借りたくない
５）今は分からない

コメントの追加 [u5]: ・“ご近所などの”を文言として消して、縮めてはどうか
・①借りたい②借りたくない③今はわからないの3つでどうか

日常的な外出についてお尋ねします

【問１１】どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　２）病院　３）散歩　４）友達と会う　５）別居の家族や子どもと会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味　８）その他（　　）

【問１２】お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　２）週１回　３）週２～４回　４）週５回以上

【問１３】以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　２）足腰の痛み　３）トイレの心配　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　６）移動手段がない　７）その他（　　）
８）外出を控えていない

【問１４】外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　２）車いす　３）自転車　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします。

【問１５】あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　６）ほとんど付き合いがない

【問１６】日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

【問１７】あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場　２）困ったことを相談できる場
３）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
４）地域のために必要なボランティア活動を考える場
５）子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場
６）子育て中の親子が集える場　７）退職後の男性が集える場
８）その他（　　）

コメントの追加 [u6]:【意見】
・問 13 と問 14 をまとめることはできないか
⇒“実態”と“意識”を分けて聞きたい
・単回答だったが、複数選択している人が多かったため、無回答扱いになった人が多かった。
⇒聞き方を見直し。（“一番親しい”を追加）

コメントの追加 [u7]: 実態調査の対象者がほぼ高齢者なので、結果的にも高齢者関係の選択率が高くなった。
選択肢の見直しをしてもいいかも。

コメントの追加 [u8]:【意見】
・女性のことは聞かないのか
⇒男性のほうが人と関わらない･･･という視点の選択肢も必要では

【問１８】災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします。

【問１９】「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

【問２０】あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

１）既に協力している
２）可能な範囲で協力をしてみたい
３）協力したいとは思わない
４）その他（　　）

【問２１】最後に、感想や意見があればご自由にお書きください。

調査へご協力いただき、ありがとうございました。

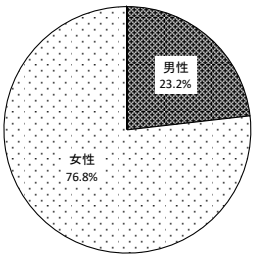
コメントの追加 [u9]:【意見】
・ふれあい対象者（気になる人）が、いろんな行事に来ないのが気になる･･･。いつも外に出ない人が、どのように考えているのかが知りたい。
・狭義で“ふれあい活動”ではなく、地域の活動（校区社協の取り組み、サロン等･･･“参加すること”）についてどのように考えているのかを聞きたい。
⇒地域の活動に協力してみたいと思いますか？みたいな聞き方に変えてもいいかも

（3）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=358）

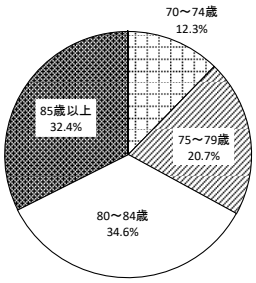
	回答数	割合
男性	83	23.2%
女性	275	76.8%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=358）

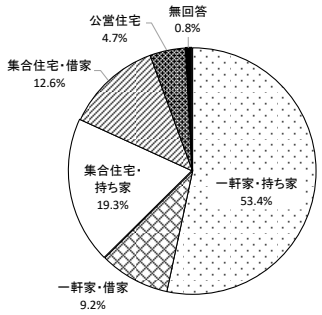
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	44	12.3%
75～79歳	74	20.7%
80～84歳	124	34.6%
85歳以上	116	32.4%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=358）

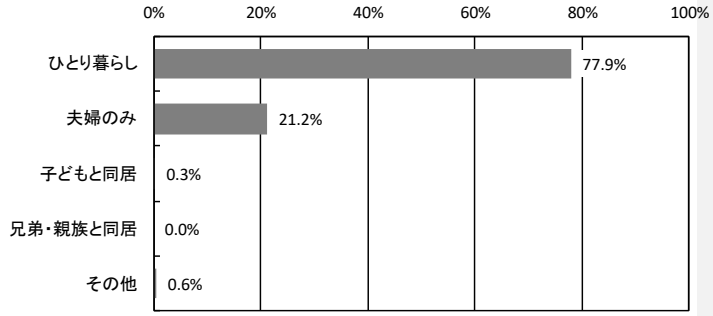
	回答数	割合
一軒家・持ち家	191	53.4%
一軒家・借家	33	9.2%
集合住宅・持ち家	69	19.3%
集合住宅・借家	45	12.6%
公営住宅	17	4.7%
その他	0	0.0%
無回答	3	0.8%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=358）

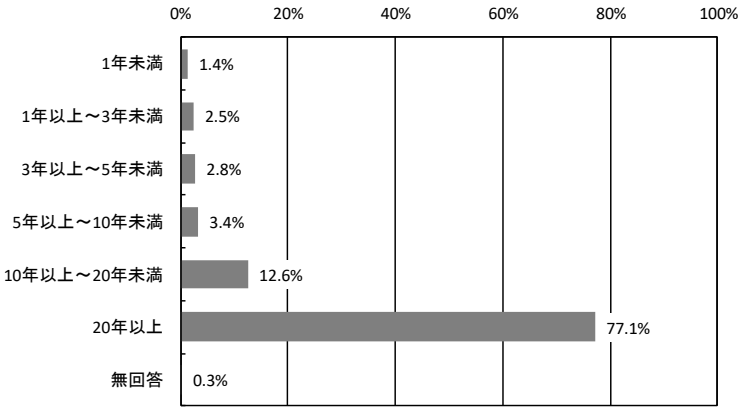
	回答数	割合
ひとり暮らし	279	77.9%
夫婦のみ	76	21.2%
子どもと同居	1	0.3%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	2	0.6%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=358）

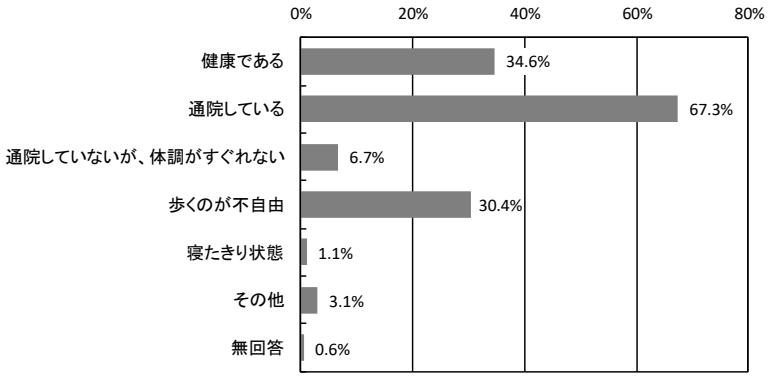
	回答数	割合
1年未満	5	1.4%
1年以上～3年未満	9	2.5%
3年以上～5年未満	10	2.8%
5年以上～10年未満	12	3.4%
10年以上～20年未満	45	12.6%
20年以上	276	77.1%
無回答	1	0.3%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
健康である	124	34.6%
通院している	241	67.3%
通院していないが、体調がすぐれない	24	6.7%
歩くのが不自由	109	30.4%
寝たきり状態	4	1.1%
その他	11	3.1%
無回答	2	0.6%



※複数回答

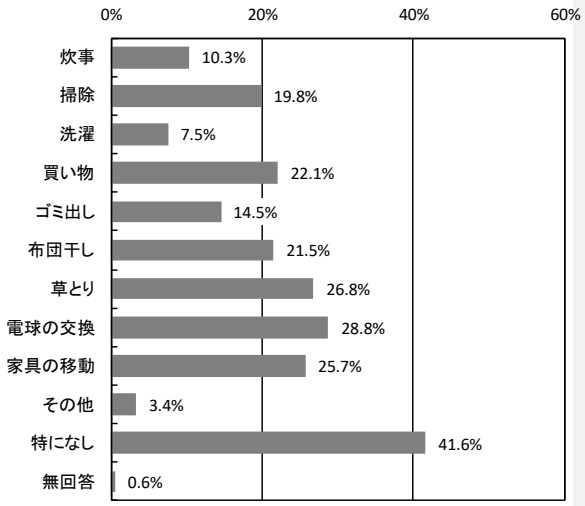
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全　体		358	34.6	67.3	6.7	30.4	1.1	3.1	0.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	50.0	63.6	2.3	9.1	－	2.3	2.3
	75～79歳	74	37.8	62.2	4.1	23.0	1.4	1.4	－
	80～84歳	124	33.9	66.9	8.1	30.6	0.8	2.4	0.8
	85歳以上	116	27.6	72.4	8.6	43.1	1.7	5.2	－

問 7	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
炊事	37	10.3%
掃除	71	19.8%
洗濯	27	7.5%
買い物	79	22.1%
ゴミ出し	52	14.5%
布団干し	77	21.5%
草とり	96	26.8%
電球の交換	103	28.8%
家具の移動	92	25.7%
その他	12	3.4%
特になし	149	41.6%
無回答	2	0.6%



※複数回答

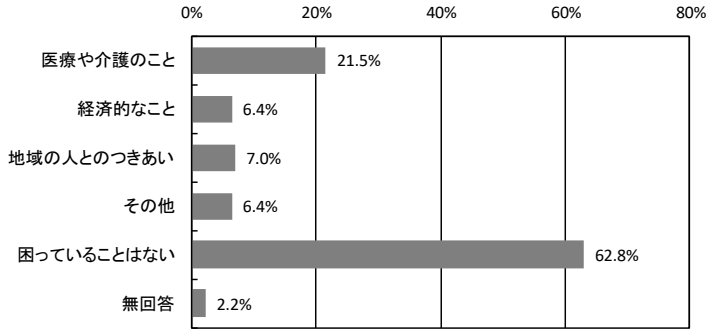
（%）

		サンプル数	炊事	掃除	洗濯	買い物	ゴミ出し	布団干し	草とり	電球の交換	家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		358	10.3	19.8	7.5	22.1	14.5	21.5	26.8	28.8	25.7	3.4	41.6	0.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	2.3	13.6	2.3	2.3	2.3	9.1	13.6	15.9	20.5	－	68.2	2.3
	75～79歳	74	8.1	10.8	8.1	12.2	8.1	14.9	18.9	23.0	14.9	－	55.4	－
	80～84歳	124	8.9	19.4	5.6	25.8	13.7	20.2	29.8	29.0	29.0	5.6	33.9	－
	85歳以上	116	16.4	28.4	11.2	31.9	24.1	31.9	33.6	37.1	31.0	4.3	31.0	0.9

問 8	その他に、困ったことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
医療や介護のこと	77	21.5%
経済的なこと	23	6.4%
地域の人とのつきあい	25	7.0%
その他	23	6.4%
困っていることはない	225	62.8%
無回答	8	2.2%



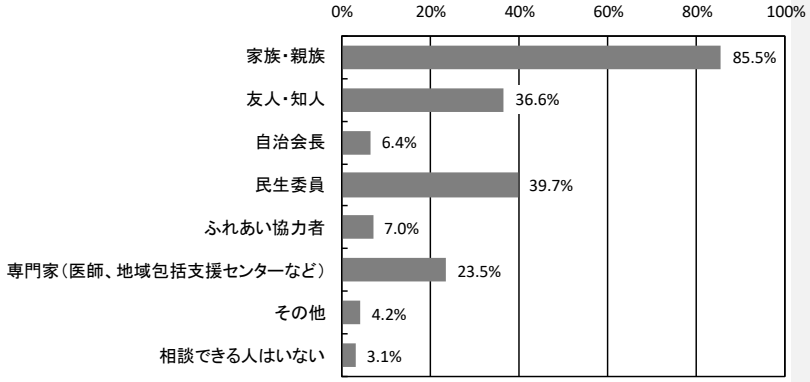
※複数回答
（%）

		サンプル数	医療や介護のこと	経済的なこと	地域の人とのつきあい	その他	困っていることはない	無回答
全　体		358	21.5	6.4	7.0	6.4	62.8	2.2
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	9.1	2.3	6.8	4.5	77.3	2.3
	75～79歳	74	20.3	9.5	6.8	1.4	67.6	－
	80～84歳	124	18.5	4.8	5.6	4.0	68.5	1.6
	85歳以上	116	30.2	7.8	8.6	12.9	48.3	4.3

問 9	困った時に相談する相手はいますか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
家族・親族	306	85.5%
友人・知人	131	36.6%
自治会長	23	6.4%
民生委員	142	39.7%
ふれあい協力者	25	7.0%
専門家（医師、地域包括支援センターなど）	84	23.5%
その他	15	4.2%
相談できる人はいない	11	3.1%



※複数回答

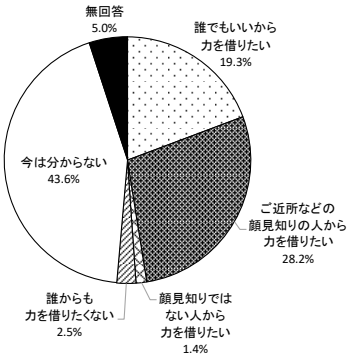
（%）

		サンプル数	家族・親族	友人・知人	自治会長	民生委員	ふれあい協力者	専門家（医師、地域包括支援センターなど）	その他	相談できる人はいない
全体		358	85.5	36.6	6.4	39.7	7.0	23.5	4.2	3.1
性別	男性	83	74.7	28.9	8.4	33.7	8.4	28.9	8.4	10.8
	女性	275	88.7	38.9	5.8	41.5	6.5	21.8	2.9	0.7
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	44	84.1	50.0	—	13.6	—	15.9	2.3	4.5
	75～79歳	74	79.7	41.9	5.4	41.9	1.4	12.2	4.1	4.1
	80～84歳	124	87.9	35.5	9.7	40.3	12.1	25.0	2.4	1.6
	85歳以上	116	87.1	29.3	6.0	47.4	7.8	31.9	6.9	3.4

問 10	困りごとについて、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。

（N=358）

	回答数	割合
誰でもいいから力を借りたい	69	19.3%
ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	101	28.2%
顔見知りではない人から力を借りたい	5	1.4%
誰からも力を借りたくない	9	2.5%
今は分からない	156	43.6%
無回答	18	5.0%



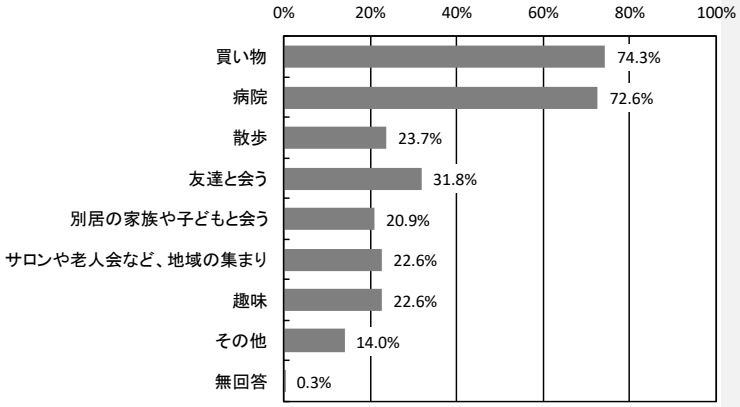
（%）

		サンプル数	誰でもいいから力を借りたい	ご近所などの顔見知りの人から力を借りたい	顔見知りではない人から力を借りたい	誰からも力を借りたくない	今は分からない	無回答
全　体		358	19.3	28.2	1.4	2.5	43.6	5.0
性別	男性	83	28.9	14.5	2.4	2.4	43.4	8.4
	女性	275	16.4	32.4	1.1	2.5	43.6	4.0
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	18.2	22.7	－	6.8	52.3	－
	75～79歳	74	13.5	20.3	4.1	1.4	59.5	1.4
	80～84歳	124	16.9	29.8	0.8	1.6	44.4	6.5
	85歳以上	116	25.9	33.6	0.9	2.6	29.3	7.8

問 11	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
買い物	266	74.3%
病院	260	72.6%
散歩	85	23.7%
友達と会う	114	31.8%
別居の家族や子どもと会う	75	20.9%
サロンや老人会など、地域の集まり	81	22.6%
趣味	81	22.6%
その他	50	14.0%
無回答	1	0.3%



※複数回答

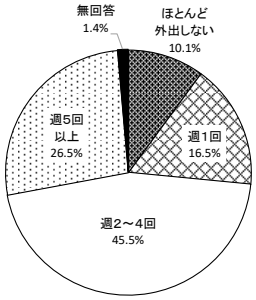
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	別居の家族や子どもと会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全体		358	74.3	72.6	23.7	31.8	20.9	22.6	22.6	14.0	0.3
性別	男性	83	74.7	72.3	34.9	24.1	21.7	20.5	25.3	15.7	—
	女性	275	74.2	72.7	20.4	34.2	20.7	23.3	21.8	13.5	0.4
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	44	86.4	54.5	18.2	54.5	20.5	6.8	40.9	20.5	—
	75～79歳	74	74.3	70.3	33.8	40.5	18.9	21.6	27.0	10.8	—
	80～84歳	124	75.0	71.8	26.6	30.6	21.0	28.2	22.6	14.5	0.8
	85歳以上	116	69.0	81.9	16.4	19.0	22.4	23.3	12.9	12.9	—

問 12	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=358）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	36	10.1%
週1回	59	16.5%
週2～4回	163	45.5%
週5回以上	95	26.5%
無回答	5	1.4%



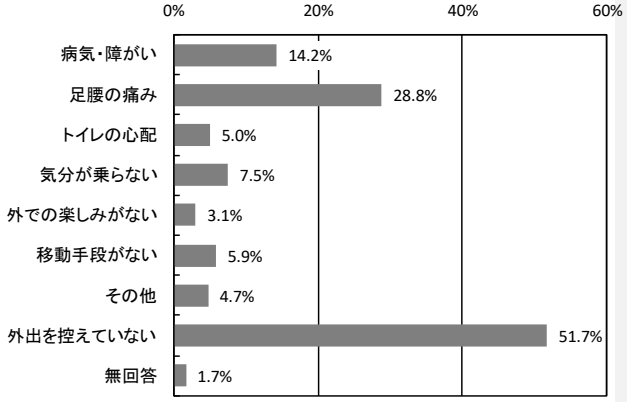
（%）

		サンプル数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全　体		358	10.1	16.5	45.5	26.5	1.4
性別	男性	83	12.0	13.3	33.7	39.8	1.2
	女性	275	9.5	17.5	49.1	22.5	1.5
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	2.3	11.4	31.8	52.3	2.3
	75～79歳	74	4.1	8.1	54.1	32.4	1.4
	80～84歳	124	12.9	20.2	46.0	19.4	1.6
	85歳以上	116	13.8	19.8	44.8	20.7	0.9

問 13	以下の理由のため、外出を控えることがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
病気・障がい	51	14.2%
足腰の痛み	103	28.8%
トイレの心配	18	5.0%
気分が乗らない	27	7.5%
外での楽しみがない	11	3.1%
移動手段がない	21	5.9%
その他	17	4.7%
外出を控えていない	185	51.7%
無回答	6	1.7%



※複数回答

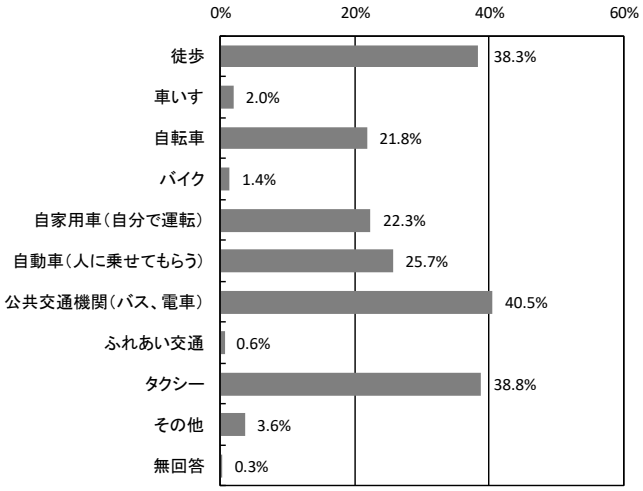
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	その他	外出を控えていない	無回答
全体		358	14.2	28.8	5.0	7.5	3.1	5.9	4.7	51.7	1.7
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	4.5	6.8	－	6.8	2.3	2.3	2.3	81.8	2.3
	75～79歳	74	12.2	21.6	2.7	10.8	2.7	5.4	6.8	56.8	2.7
	80～84歳	124	13.7	26.6	7.3	7.3	4.0	5.6	4.0	51.6	2.4
	85歳以上	116	19.8	44.0	6.0	6.0	2.6	7.8	5.2	37.1	－

問 14	外出する際の主な移動手段は何ですか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
徒歩	137	38.3%
車いす	7	2.0%
自転車	78	21.8%
バイク	5	1.4%
自家用車（自分で運転）	80	22.3%
自動車（人に乗せてもらう）	92	25.7%
公共交通機関（バス、電車）	145	40.5%
ふれあい交通	2	0.6%
タクシー	139	38.8%
その他	13	3.6%
無回答	1	0.3%



※複数回答

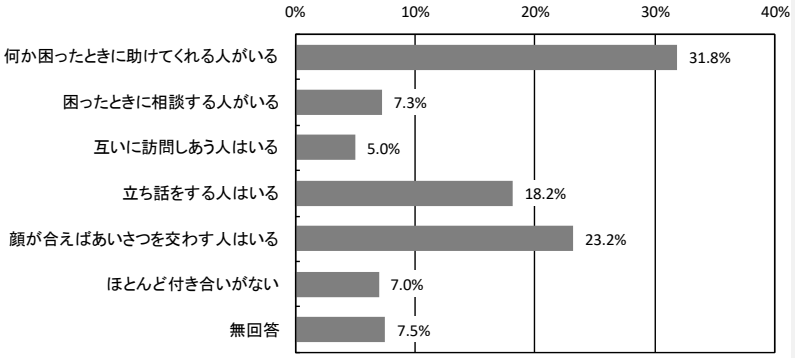
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関（バス、電車）	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全体		358	38.3	2.0	21.8	1.4	22.3	25.7	40.5	0.6	38.8	3.6	0.3
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	31.8	－	25.0	2.3	52.3	15.9	52.3	－	22.7	－	－
	75～79歳	74	41.9	2.7	37.8	－	27.0	18.9	39.2	－	21.6	1.4	1.4
	80～84歳	124	40.3	2.4	17.7	2.4	15.3	26.6	47.6	－	46.8	2.4	－
	85歳以上	116	36.2	1.7	14.7	0.9	15.5	32.8	29.3	1.7	47.4	7.8	－

問 15	あなたは、日頃、一番親しいご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

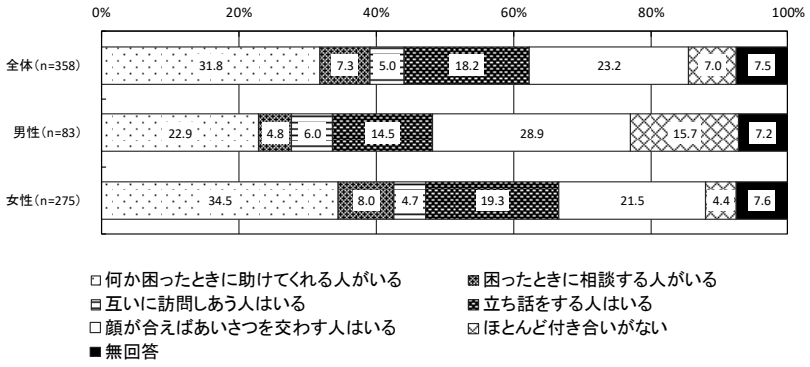
（N=358）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	114	31.8%
困ったときに相談する人がいる	26	7.3%
互いに訪問しあう人はいる	18	5.0%
立ち話をする人はいる	65	18.2%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	83	23.2%
ほとんど付き合いがない	25	7.0%
無回答	27	7.5%



（%）

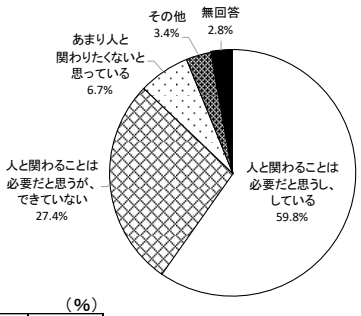
		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		358	31.8	7.3	5.0	18.2	23.2	7.0	7.5
性別	男性	83	22.9	4.8	6.0	14.5	28.9	15.7	7.2
	女性	275	34.5	8.0	4.7	19.3	21.5	4.4	7.6



問 16	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

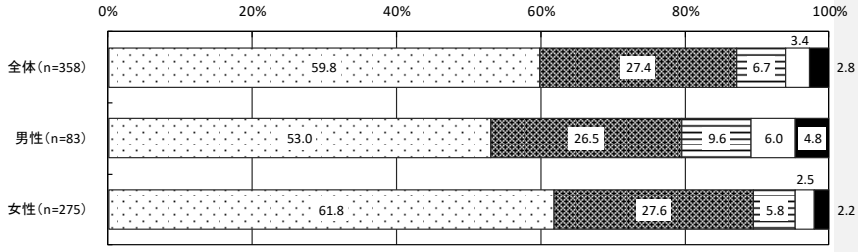
（N=358）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	214	59.8%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	98	27.4%
あまり人と関わりたくないと思っている	24	6.7%
その他	12	3.4%
無回答	10	2.8%



（%）

		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		358	59.8	27.4	6.7	3.4	2.8
性別	男性	83	53.0	26.5	9.6	6.0	4.8
	女性	275	61.8	27.6	5.8	2.5	2.2

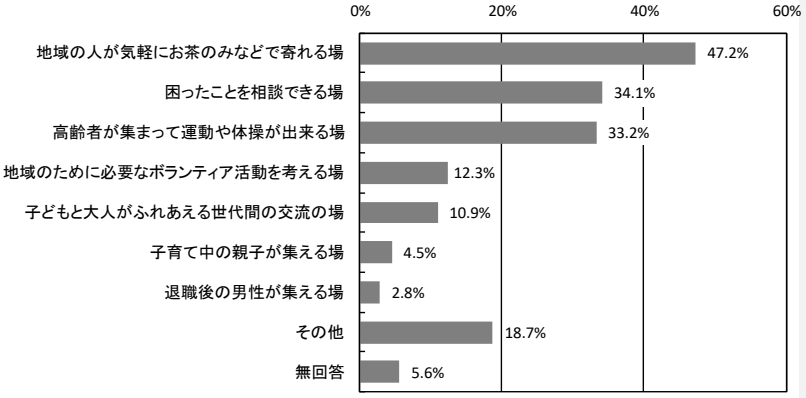


□人と関わることは必要だと思うし、している
▩人と関わることは必要だと思うが、できていない
▤あまり人と関わりたくないと思っている
□その他

問 17	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	169	47.2%
困ったことを相談できる場	122	34.1%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	119	33.2%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	44	12.3%
子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	39	10.9%
子育て中の親子が集える場	16	4.5%
退職後の男性が集える場	10	2.8%
その他	67	18.7%
無回答	20	5.6%



※複数回答

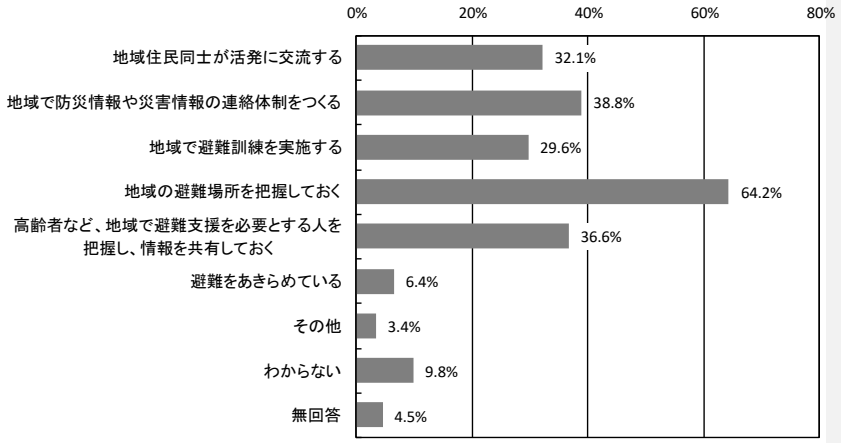
（%）

		サンプル数	地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	困ったことを相談できる場	高齢者が集まって運動や体操が出来る場	地域のために必要なボランティア活動を考える場	子どもと大人がふれあえる世代間の交流の場	子育て中の親子が集える場	退職後の男性が集える場	その他	無回答
全体		358	47.2	34.1	33.2	12.3	10.9	4.5	2.8	18.7	5.6
性別	男性	83	50.6	34.9	32.5	15.7	13.3	6.0	8.4	18.1	7.2
	女性	275	46.2	33.8	33.5	11.3	10.2	4.0	1.1	18.9	5.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	38.6	34.1	34.1	13.6	13.6	－	－	15.9	6.8
	75～79歳	74	40.5	23.0	37.8	4.1	10.8	4.1	2.7	17.6	6.8
	80～84歳	124	49.2	37.1	31.5	12.9	7.3	5.6	4.0	17.7	3.2
	85歳以上	116	52.6	37.9	31.9	16.4	13.8	5.2	2.6	21.6	6.9

問 18	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	115	32.1%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	139	38.8%
地域で避難訓練を実施する	106	29.6%
地域の避難場所を把握しておく	230	64.2%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	131	36.6%
避難をあきらめている	23	6.4%
その他	12	3.4%
わからない	35	9.8%
無回答	16	4.5%



※複数回答

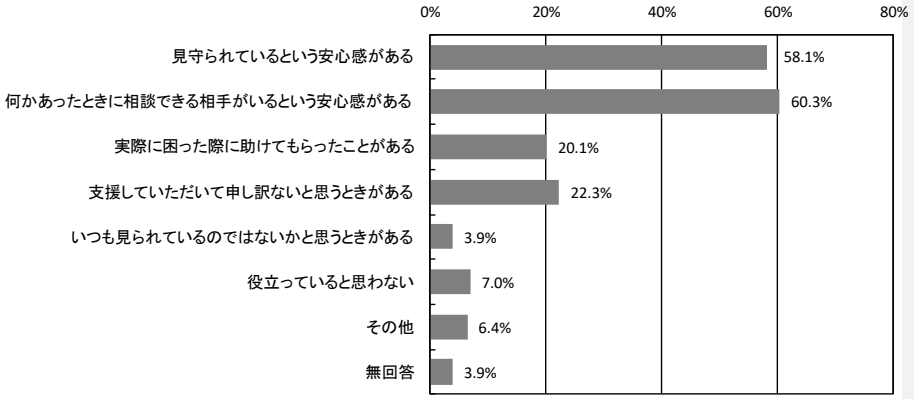
（%）

		サンプル数	地域住民同士が活発に交流する	地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	地域で避難訓練を実施する	地域の避難場所を把握しておく	高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	避難をあきらめている	その他	わからない	無回答
全　体		358	32.1	38.8	29.6	64.2	36.6	6.4	3.4	9.8	4.5
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	27.3	34.1	22.7	79.5	34.1	－	6.8	6.8	2.3
	75～79歳	74	27.0	28.4	29.7	62.2	29.7	6.8	1.4	6.8	8.1
	80～84歳	124	32.3	45.2	29.0	61.3	40.3	5.6	3.2	11.3	3.2
	85歳以上	116	37.1	40.5	32.8	62.9	37.9	9.5	3.4	11.2	4.3

問 19	「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=358）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	208	58.1%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	216	60.3%
実際に困った際に助けてもらったことがある	72	20.1%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	80	22.3%
いつも見られているのではないかと思うときがある	14	3.9%
役立っていると思わない	25	7.0%
その他	23	6.4%
無回答	14	3.9%



※複数回答

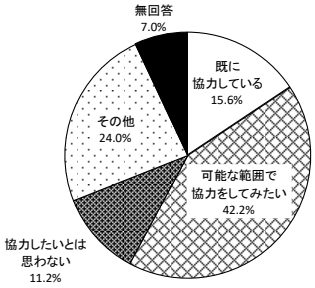
（%）

		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		358	58.1	60.3	20.1	22.3	3.9	7.0	6.4	3.9
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	61.4	52.3	9.1	9.1	4.5	2.3	11.4	2.3
	75～79歳	74	45.9	54.1	17.6	17.6	1.4	5.4	5.4	4.1
	80～84歳	124	58.1	64.5	15.3	25.0	0.8	8.1	2.4	4.0
	85歳以上	116	64.7	62.9	31.0	27.6	8.6	8.6	9.5	4.3

問 20	あなたは地域の行事や活動に協力してみたいと思いますか。

（N=358）

	回答数	割合
既に協力している	56	15.6%
可能な範囲で協力をしてみたい	151	42.2%
協力したいとは思わない	40	11.2%
その他	86	24.0%
無回答	25	7.0%



（%）

		サンプル数	既に協力している	可能な範囲で協力をしてみたい	協力したいとは思わない	その他	無回答
全体		358	15.6	42.2	11.2	24.0	7.0
性別	男性	83	19.3	37.3	9.6	21.7	12.0
	女性	275	14.5	43.6	11.6	24.7	5.5
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	0	－	－	－	－	－
	70～74歳	44	9.1	50.0	11.4	20.5	9.1
	75～79歳	74	14.9	48.6	16.2	12.2	8.1
	80～84歳	124	21.0	38.7	10.5	24.2	5.6
	85歳以上	116	12.9	38.8	8.6	32.8	6.9

豊府校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	令和元年９月
発　　行	豊府校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８